

令和元年度事業報告

一般財団法人保安通信協会

令和元年度事業報告

第1 異同識別事業

指定試験機関としての業務を通じて蓄積した遊技機に関する知見を活用して、不正改造された遊技機を社会から排除するため、次の事業を行った。

1 遊技機の異同識別に関する業務

捜査機関から囑託を受け、犯罪捜査に係る遊技機と当該遊技機に係る型式の遊技機との異同識別（鑑定）を17件、捜査関係事項照会を3件実施した。

2 異同識別に関する講習

捜査機関からの要請に基づき、遊技機の異同識別技術に関する指導のための講習会を3回実施した。

3 遊技機の性能調査

遊技機の不正改造・不正使用防止対策の本来性能への影響調査を1件実施した。

第2 調査研究事業

国民生活全般の安心・安全の水準の維持向上に寄与するため、保安に関連する電子情報通信技術に関して、時代に則したテーマを選定し、次の調査研究を行った。

1 デジタル・フォレンジックに関する調査研究

デジタル・フォレンジックの分野における専門家の育成カリキュラムに関して調査研究を行い、警察、検察、麻薬取締部等の法執行機関の職員を対象として、フォレンジックに関する基礎的講義を行うとともに、モバイル機器からのデータ抽出・解析デモ等を実施した。また、クラウドサービス等の利用が増大していることから、捜査部門におけるビッグデータの活用及び解析に関してビッグデータ活用基礎講座を開催した。

2 事件、事故、災害時等における画像等新技術の活用に関する調査研究

事件、事故、災害時等において、携帯電話（スマートフォン）やデジタルカメラ等で撮影した現場映像や各種センサー等からの情報を、5Gやビッグデータ等の技術を用いて、警察、消防、海上保安庁等の機関において効果的かつ効率的に活用するための最新技術の動向に関する調査を実施した。また、カメラやAI技術を活用した情報収集や防犯システムの利活用状況に関し、幅広く調査研究を実施した。

3 保安電子通信技術に関するセミナーの開催及び最新技術の動向と研究の紹介

「事件、事故、災害時等における映像、ビッグデータ、ドローン等最新技術の活用」と「デジタル・フォレンジックにおける最新技術の活用」をテーマとした「第11回保安電子通信技術セミナー・展示会」を開催し、最新技術や研究の動向を紹介した。これらの成果は報告書としてとりまとめ、関係機関等に配布した。

第3 保安電子通信事業

協会が有する知見及び技術をもって行う保安電子通信技術に関する業務を受託した。

1 意見書交付業務

「遊技機の認定及び型式の検定等に関する規則」に基づく製造能力確認者として書類審査及び実地調査を行い、意見書12件、変更意見書25件、計37件を交付した。

2 遊技球等貸出装置機能確認業務

遊技球等貸出装置の機能確認4件を実施し、謄本2,770部を交付した。

3 メダル自動補給装置機能確認業務

メダル自動補給装置の機能確認701件を実施し、謄本200部を交付した。

4 各種情報のオンライン提供業務

2地方公共団体と契約を締結し、サービス提供を開始した。

第4 型式試験事業

「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律(昭和23年法律第122号)」に基づく指定試験機関として、次の業務を行った。

1 遊技機の型式試験業務

「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律(昭和23年法律第122号)」及び関係法令に基づいて、確実な試験事務を行った。

(1) 型式試験申請書受理件数

ぱちんこ遊技機	942件
回胴式遊技機	986件

アレンジボール遊技機	0件
じゃん球遊技機	2件
計	1, 930件

(2) 型式試験結果書交付件数

ぱちんこ遊技機	926件
回胴式遊技機	897件
アレンジボール遊技機	0件
じゃん球遊技機	3件
計	1, 826件

2 遊技機の型式試験に関する調査研究

試験事務の合理化・効率化等に関して、次の調査研究を行った。

(1) 中長期的課題に関する調査研究

画像処理技術等を用いた遊技機試験の高度化に関する調査研究

5年計画の初年度として、型式試験（試射試験）の現状調査を行うとともに、画像認識分野を中心に要素技術の調査を行った。

(2) 試験事務の効率化のための実用化研究

遊技くぎの傾き及びその方向の計測方法に関する調査研究

計画の最終年度に当たる3年目として、平成30年度に研究開発した試作システムについて、計測精度面での更なる検証を行うとともに実用化に向けた改善点のとりまとめを行った。この結果、令和2年度に試作システムを改良して実用化を図ることを目的に、計画を1年延長することにした。

令和元年度附属明細書

一般財団法人保安通信協会

令和元年度附属明細書

「第11回保安電子通信技術セミナー・展示会」の開催結果

- 実施日 令和2年2月12日
- 会場 東京国際フォーラム
- 参加者 507名
- 展示会出展企業等 44社